

本紙9月号の休日当番医は9月12日(日)から掲載します。

休日当番医

診療時間は9時～16時。費用は休日の初診料金。
目的は、急な病気やけがなどの診療治療で、処方日数は1日～数日です。



※市外局番は前橋市・高崎市ともに027です。

	小児科	内科			外科		婦人科	耳鼻科	眼科
8月8日(日)	なんきつこどもクリニック(児) 荒牧町一丁目 ☎235-2558	前橋東クリニック(内児) 下大屋町 ☎268-2260	堺堀内科循環器科医院(内) 若宮町一丁目 ☎231-8056	はしづめ胃腸と内科のクリニック(内) 朝倉町三丁目 ☎257-0546	田部医院(外) 六供町 ☎223-1061	整形外科とくまクリニック(整) 総社町総社 ☎254-2611	マザーズクリニック(産婦) 小屋原町 ☎266-8803	町井耳鼻咽喉科(耳鼻) 文京町二丁目 ☎221-2551	高橋眼科医院(眼) 元総社町 ☎252-8078
8月9日(月)	瀬下こどもクリニック(児) 元総社町 ☎255-3350	はしづめ診療所文京町(内) 文京町二丁目 ☎220-5720	田中内科クリニック(内) 日吉町一丁目 ☎231-3001	江木町クリニック(内) 江木町 ☎263-1101	田中外科内科医院(外) 下小出町三丁目 ☎231-0555	西田整形外科(整) 樋越町 ☎280-2233	*高崎市夜間休日急病診療所(婦) 高崎市高松町 ☎381-6119	耳鼻咽喉科はるクリニック(耳鼻) 高崎市江木町 ☎384-3387	だるま眼科(眼) 高崎市飯塚町 ☎381-8915
8月15日(日)	いまいずみ小児科(児) 本町一丁目 ☎220-1333	定方医院(内) 亀里町 ☎265-0345	もてぎ内科医院(内) 上増田町 ☎266-5671	つくも内科医院(内) 富士見町原之郷 ☎230-5085	鳥羽整形外科クリニック(整外) 紅雲町二丁目 ☎223-7700	前橋脳外科クリニック(脳外) 東片貝町 ☎221-8145	中野産婦人科医院(産婦) 国領町二丁目 ☎233-5588	いづか耳鼻咽喉科(耳鼻) 樋越町 ☎280-2111	結城眼科医院(眼) 西片貝町三丁目 ☎226-7575
8月22日(日)	小児科しもだクリニック(児) 六供町 ☎220-1221	みやざき内科クリニック(内) 元総社町 ☎212-5000	うい内科クリニック(内) 駒形町 ☎226-5566	五十嵐医院(内) 富士見町原之郷 ☎288-2026	大島整形外科医院(整) 荒牧町 ☎231-3711	たき医院(外) 大利根町一丁目 ☎251-5101	*松原医院(婦) 高崎市新保町 ☎353-4103	清水耳鼻咽喉科(耳鼻) 高崎市京目町 ☎353-4533	あかばね眼科(眼) 高崎市上並榎町 ☎388-9111
8月29日(日)	みどり小児科(児) 嶺町 ☎269-8885	富沢医院(内) 江田町 ☎251-5414	飯塚医院(内) 荒口町 ☎268-5600	松山医院(内) 本町一丁目 ☎289-2121	金古医院(外内) 日吉町三丁目 ☎233-1131	増田整形外科医院(整) 高花台一丁目 ☎269-6222	横田マタニティーホスピタル(産婦) 下小出町一丁目 ☎219-4103	いとう耳鼻咽喉科(耳鼻) 朝倉町 ☎287-4707	すがの眼科(眼) 古市町一丁目 ☎210-8181
9月5日(日)	大学橋ファミリークリニック(児) 関根町二丁目 ☎212-6627	福山内科(内) 東片貝町 ☎243-1380	おおつか内科クリニック(内) 大友町三丁目 ☎252-6006	えんどう内科クリニック(内) 勝島町 ☎226-5700	狩野脳神経外科医院(脳外) 上泉町 ☎269-5454	せき整形外科クリニック(整) 三河町一丁目 ☎226-6631	*高崎市夜間休日急病診療所(婦) 高崎市高松町 ☎381-6119	宮下耳鼻咽喉科(耳鼻) 高崎市正観寺町 ☎361-7325	下之城眼科クリニック(眼) 高崎市下之城町 ☎386-4149

※発熱がある人は事前に電話の上、受診してください。

※8月9日・22日・9月5日の婦人科は12時まで。13時～18時は産科婦人科館出張佐藤病院(高崎市若松町 ☎027-322-2243)で診療。
※高崎市の当番診療所は18時まで診療。
※場合によっては発熱患者の対応ができない当番医もあります。

夜間・救急など	夜間急病診療所 ☎027-243-5111 朝日町四丁目9-5 内科と小児科 20時～23時 救急病院案内(24時間体制) ☎027-221-0099 ※メモの用意をしてから連絡してください。 こども医療電話相談 #8000 月～土曜=18時～翌8時、日曜・祝日は8時～翌8時 ※IP電話・ダイヤル回線からはつながりません。携帯電話からかけてください。	歯科	市歯科医師会休日診療所 ☎027-237-3685 岩神町二丁目19-9 日曜・祝日、10時～12時・13時～15時
	薬局		市薬剤師会会営薬局 ☎027-223-8400 紅雲町一丁目2-15 日曜、9時30分～16時 ※祝日は最寄りの薬局にお問い合わせください。

接骨院・整骨院の休日当番

8月8日(日)	森下接骨院(樋越町) ☎027-283-0994	8月22日(日)	吉沢接骨院(大渡町一丁目) ☎027-254-2113
8月9日(月)	あおい整骨院(大利根町二丁目) ☎027-252-6625	8月29日(日)	六本木整骨院(荻窪町) ☎027-289-0062
8月15日(日)	よこやま接骨院(文京町四丁目) ☎027-289-8204	9月5日(日)	わたなべ接骨院(富士見町時沢) ☎027-288-9996

【 集団健診(検診) を実施

健康増進課 ☎027-220-5784

各種集団健診(検診)を実施します。全ての健診(検診)で事前申し込みが必要です(先着順・定員あり)。また、受診前に自宅で検温を済ませ、マスクを着用してお越しください。平熱より体温が1度程度以上高い場合や風邪の症状がある場合は、受診を控えてください。

●集団健診(検診)
時①9月22日(水)8時30分～11時(大腸容器配布は9月15日(水)9時30分～11時) ②10月1日(金)9時30分～11時
場①は粕川隣保館 ②はJA宮城介護ステーション

※本年度検診対象者(40歳以上)で未受診の人

※保険証、受診シール
場①は8月25日(水)～9月15日(水)に健康増進課 ②は8月18日(水)～9月3日(金)に東部営農センター
☎027-283-2502へ

●女性のがん検診
託児については事前に相談してください。

時①9月7日(火)②9日(水)③25日(土)、13時～15時
場①③は保健センター ②は粕川隣保館
※本年度検診対象者で未受診の女性。〈子宮頸がん〉20歳以上、〈乳がん(甲状腺)〉40歳以上

※受診シール
場①は8月11日(水)～31日(火) ②は8月12日(水)～9月2日(水) ③は8月30日(月)～9月17日(金)に健康増進課へ

女性のためのリラクゼーション講座

健康増進課 ☎027-220-5708

保健師と管理栄養士による更年期や食生活の講話や、健康運動指導士によるストレッチや尿もれ予防体操を実施。希望者には骨量測定をします。
時9月10日(金)・15日(水)、9時30分～11時45分
場保健センター
※35歳～64歳の女性、先着20人
場①8月4日(水)～9月1日(水)に健康増進課へ

健康テレホンサービス

☎027-234-4970

二次元コードから健康相談と過去の健康情報の検索ができます。

曜日・内容 = 〈月曜〉冷房と婦人病疾患〈火曜〉味覚障害〈水曜〉正常分娩と帝王切開〈木曜〉口唇ヘルペス〈金曜〉入れ歯と上手に付き合う方法〈土日曜〉金属アレルギー(ピアス、ネックレス)

直接相談タイム(歯科) = 歯科医師が直接相談。
8月4日(水)19時30分～21時



夏場の食中毒に注意

衛生検査課 ☎027-220-5778

8月は食品衛生月間です。気温が高くなる夏場は細菌性の食中毒が発生しやすい時季。食中毒予防の3原則、菌を付けない、増やさない、やっつけるを守り食中毒を防ぎましょう。家庭でできる食中毒予防のポイントは次のとおりです。①手や食品、調理器具はきれいに洗い、食品はふたやラップで覆って保存する②食品はすぐに冷蔵庫に入れてできるだけ早く食べる③十分に火を通して、調理器具は定期的に消毒する。

介護予防活動ポイント登録研修会

ボランティアセンター ☎027-232-3848

時9月10日(金)13時30分
場総合福祉会館
※市内在住で60歳以上の人
場ボランティアセンターへ

認知症を語るカフェ

長寿包括ケア課 ☎027-898-6133

時9月15日(水)10時～11時
場K'BIX元気21まえばし
※市内在住で認知症の人とその家族や認知症支援に関心のある人、先着12人
場長寿包括ケア課へ

健康手帳

油断大敵、糖尿病網膜症

糖尿病の三大合併症は腎症と神経症、そして網膜症です。糖尿病網膜症は、早期に発見して適切に検査や治療を継続すれば、悪化を防げます。一方で、急に見えなくなった、墨が流れているように見ると眼科を受診した時には、眼球内部で出血や網膜剥離を起こし、すでに重症になっていることも。なぜ、発見や治療が遅れてしまうのか。それは、

病態がかなり進行するまで、見えにくい、痛いなどの自覚症状がないからです。

一度糖尿病になると、血糖コントロールが安定した後でも網膜症が出現することもあります。糖尿病になるとすぐに網膜症が発症するわけではありません。血糖値が下がったから、見え方に問題がないからと油断せずに、眼科で定期的に眼底検査を受けることが極めて大切です。

前橋市医師会 板倉 宏高